

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

総務課秘書広報室
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田791番地
☎お太助フォン 42-5627 42-4376

AKITAKATA My Town Events

HOTな話題

10月13日(土)
高宮ハーモニー広場

第46回高宮神楽まつり



高宮町内で活躍する神楽団を中心に、特別出演の神楽団を交えて豪華絢爛な舞を披露。深夜まで圧巻の舞が繰り広げられました。

10月21日(日)
高宮支所・高宮ハーモニー広場

第36回たかみや大地の祭り



晴天にも恵まれ、多くの人が来場。名物の巻き寿司は218mにチャレンジ。市の観光大使・森崎浩司さんも参加して祭りを盛り上げました。

10月14日(日)
甲田文化センターミュージアム前広場

第30回わいわい祭 第50回商工祭



琉球國祭り太鼓



一輪車乗りや梨の皮むき大会など参加型のイベントが盛りだくさん。今年も多くの親子連れがイベントやステージを楽しみました。

梨の皮むき大会には浜田市長も参加

10月21日(日)
美土里生涯学習センターまなび

森の学校プロジェクト 親子で森とふれあおう



森について知る様々なイベントを用意。チェーンソーアート王、林隆雄さんのショーを見た子どもたちは大きな歓声を上げていました。

10月27日(土)
湧永満之記念公園

湧永庭園ウォーク



約220人の方々が園内約2kmを散策。秋晴れの中、健康クイズに答えたりしながら心地よいウォーキングを楽しみました。

10月28日(日)
クリスタルアーヂョ

青少年育成フェスティバル



市内小中学生による意見発表

谷口仁史さんによる講演

『心がほっとする標語』の表彰式や小学生による意見発表のほか、障害者施設を取り組みを紹介するパネル展示も同時開催されました。

安芸高田

歴史紀行

シリーズ
「博物館コレクション」第7回

安芸高田市重要文化財 青迫遺跡出土青銅鏡片



安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 和田 麻衣子

今回は青迫遺跡(甲田町下小原)から出土した青銅鏡片について取り上げます。

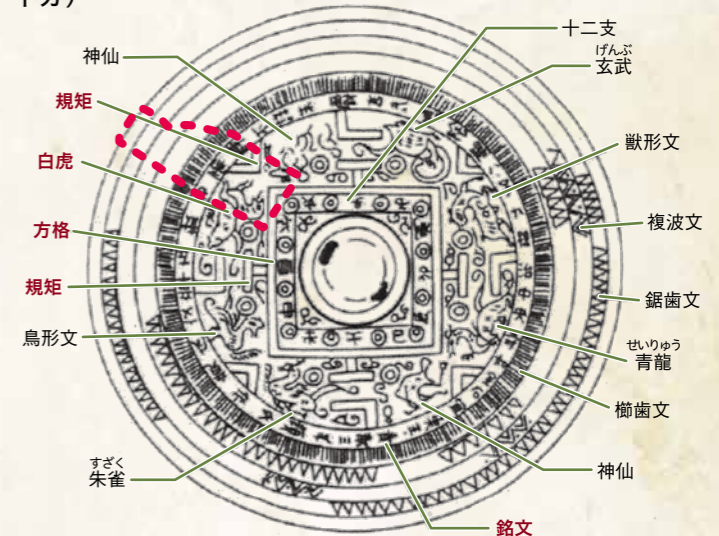


びゃっこ 白虎 (西の守護神)
不明
てんろく 天鹿 (古代中国の想像上の動物)
銘文の一部 (字体「欠」の下半分)

青迫遺跡
戸島川沿いの西岸に位置し、弥生・奈良時代の複合遺跡です。遺構は奈良時代の建物跡、遺物は弥生土器・須恵器・木製品などがみつかりました。なかでも方格規矩四神鏡とよばれる中国製の銅鏡の破片(長さ5・2×1・9cm・厚さ0・3cm・重さ10g)は、一般的に破鏡とよばれ、大変珍しく県内でも2例目です。また市内では古墳時代以前の青銅鏡の出土は他になく、大変貴重な例です。

破鏡

この鏡は本来、右図のような径約18cmの円形であったものを意図的に割った後に断面をよく磨いたものです。形態や銘文から、後漢前期(紀元一世紀頃)に中国で作られ、弥生時代後期頃に日本に持ち込まれたものと考えられます。中央から地方の有力者に分配する為に行われました。破鏡の上半分にみえる動物は、白虎と天鹿であると考えられます。白虎は西の守護神、天鹿は神からの使いとされ、どちらも古代中国の聖獣です。



模式図：一般的な方格規矩四神鏡(一部加筆)



周辺遺跡位置図

周辺遺跡の関係
銅鏡は呪術に使われるだけでなく、権威の象徴としても珍重されたことから、この地域に力を持った人物が存在したことが考えられます。
周辺遺跡例として最近の調査で、同じく江の川流域に位置する甲立第2号墳が、古墳時代初頭頃に造られたことがわかりました。両遺跡の時期や位置関係を考えてみると、何かつながりがあるのかもしれないですね。
(模式図出典 王仲殊「日本出土の青龍三年銘方格規矩四神鏡について」『京都府埋蔵文化財情報』第54号「一九九四」『やさかの教育』第五六号から転載・加筆)